

次期中期計画に向けた不正行為排除の新たな取組み

- 平成18年度事業計画の重点事項 -

自動車検査独立行政法人（略称：自動車検査法人）は、7月1日で設立4周年を迎え、中期計画最終年度の年となりました。

平成18年度は、中期計画の最終年度に当たりますので、その確実な達成に向け、法人運営の基本理念に則り、不当要求行為を徹底排除し、厳正かつ公正な検査業務を行うことを基本としながら、様々な事業を展開していきたいと考えています。まず、不正改造車や基準不適合車の排除のため、各地で開催されるカスタムカー・ショーにおける啓発活動を引き続き実施するとともに、今年度から、新たに、不正改造や基準不適合を招く自動車部品・用品等について、自動車用品販売店における啓発活動も実施するなど、法人として、自動車社会秩序の維持の一翼を担って参ります。

さらに、検査場の電子化として、大型車等の二次架装による不正受検を防止するため、新規検査時における車両の三次元画像記録を電子的に保存するシステムを各事務所に順次導入していくとともに、紙の検査票を悪用した不正受検を防止するため、審査結果を記録した検査票等の検査データを電子的に処理するシステムを八王子事務所に試験導入します。

これらに加え、自動車技術の進歩に伴う検査の高度化の検討や、利用者の安全で安心な受検のための検査施設・機器の改修など、19年度からの新たな中期計画に向けた取組みを進めていきます。

18年度事業計画において、重点事項として取り組む事項の概要は、次のとおりです。

1. 不正改造車の排除

カスタムカー・ショーにおける啓発・指導を引き続き行うとともに、新たに、大手自動車用品販売店団体の協力を得ながら、カー用品ショップにおける自動車部品・用品に対する啓発活動を行い、不正改造を排除します。

2．不正受検と不審車の排除による自動車社会秩序の維持

消えるボールペンによる検査票の改ざんや他の車両で受検する替え玉受検の実態について、その手口を公表し不正受検を排除します。また、車台番号の改ざん等の不正事案例や統計を公表し、自動車の盗難防止等への取組みを進めます。

3．三次元画像データシステムの導入による二次架装の防止

新規検査の受検時における車両の三次元画像データを電子的に記録・保存するシステムを各事務所等に順次導入することにより、検査後の二次架装等の不正受検防止に取り組みます。

4．不正受検防止等のための検査場の電子化

検査票を受検者に預けることによる不正な受検を防止するとともに、検査結果をユーザーに文書で提供することを検討するため、検査結果データを電子的に収集し、保存することまでを行うシステムを八王子事務所に試験的に設置します。また、これに伴い、19年中を目途に、自動車検査票様式の全国統一を行うことについて検討します。

5．自動車検査場の耐震診断と検査機器の故障状況の調査

老朽化が著しい検査場の耐震診断を実施するとともに、故障の多い検査機器について故障状況を調査し、これらの結果を公表して、必要な改修等を検討します。

6．利用し易い施設の整備

相模事務所について、バリアフリー化した見学者コースを備えた検査場に建て替えることとし、19年1月からの運用開始を計画しています。

(参考)平成18年度予算計画

収入11,757百万円(うち、運営費交付金8,922百万円、施設整備費補助金1,929百万円)、支出11,757百万円(うち、人件費6,969百万円、業務経費1,620百万円、一般管理費1,239百万円、施設整備費1,929百万円)を計画しています。

お問い合わせ先

〒160-0003 東京都新宿区本塩町8-2住友生命四谷ビル
自動車検査法人本部 企画部企画課 森内、山田
電話 03-5363-3441 (代表)
03-5363-3444 (直通)
FAX 03-5363-3347
E-mail kikakuka@navi.go.jp